

第22回議会報告会 報告書



【開催日】

10月	28日	片岡会館
10月	29日	北区自彊館
11月	6日	住吉会館
11月	7日	川尻会館

第22回議会報告会を終えて



10月28日から11月7日の間、4地区で開催しました議会報告会にご参加いただきありがとうございました。

幅広い年代の皆さんからのご意見やご要望は、今後の町政への政策提案などに活かしていきたいと考えます。

報告内容の充実を望む意見や意見交換の時間が足りなかったとの感想もありましたので、次回の開催に向けて改善していきたいと思えます。

いただいたご意見やご質問について、報告書をもって回答させていただきます。

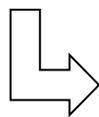
今後とも町議会に対するご理解とご協力をお願いします。

吉田町議会議長 大石 巖

【目次】

1	アンケート集計結果	1 P
2	質問・意見のまとめ	
(1)	報告に対する質問・意見	10 P
(2)	意見交換	
A	子どもの居場所づくり	13 P
B	“ぎゅっと”カーよしだ	16 P
C	吉田町議会議員定数	18 P
(3)	自由意見	20 P
3	報告会における質問・意見の集約	
(1)	子どもの居場所づくりについて	22 P
(2)	“ぎゅっと”カーよしだについて	23 P
(3)	その他意見	24 P
4	当局（企画課）からの回答	27 P

※ 報告会資料（スライド）については、吉田町ホームページに掲載しておりますので、こちらから御覧ください。



1 アンケート集計結果

◎ お住まい (参加者名簿) (人)

地区	住吉	川尻	片岡	北区	町外	不明	合計
人数	22	29	13	22	1	2	89

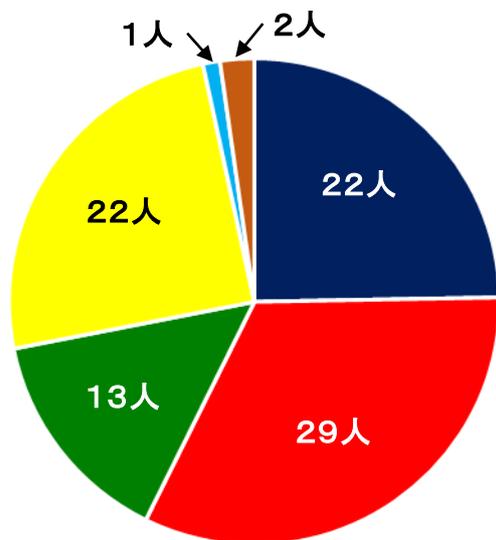
◎ 年齢 (アンケート集計) (人)

年齢	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
人数	0	1	8	6	45	28	88

問1 報告会はどこで知りましたか (複数可) (人)

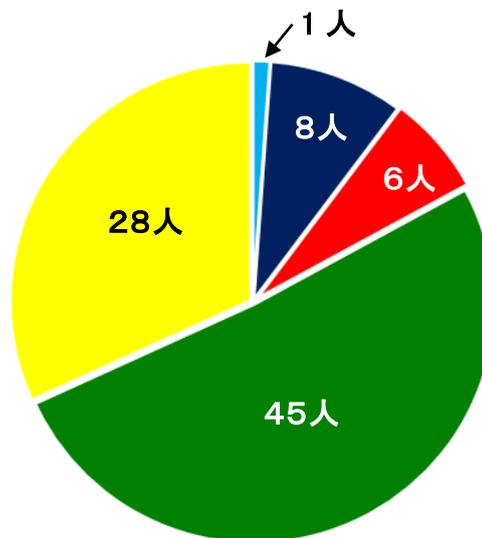
町回覧文書	町HP	LINE	知人・友人	議員	その他
45	5	8	1	15	29

地区別参加者数



■ 住吉 ■ 川尻 ■ 片岡
■ 北区 ■ 町外 ■ 不明

年代別参加者数



■ 30代 ■ 40代
■ 50代 ■ 60代
■ 70代以上

問2 今回の議会報告会についていかがでしたか。

単位：(人)

項目	①大変良かった	②良かった	③良くなかった	④どちらとも言えない	合計
人数	9	60	2	17	88

【片岡】

① 大変良かった

- ・意見とともに町民の方の意見を聞く姿勢が素晴らしい。
- ・明確なテーマがありよかった。

② 良かった

- ・意見交換が活発であった。テーマが多くて意見交換ができた。
- ・初めての参加であり、勉強になった。
- ・基本的内容が聞けた。

③ 良くなかった

なし

④ どちらとも言えない

- ・テーマ選定が身近に感じているものではないので意見が出づらかった。
- ・歳出・歳入の内容が不明確。
- ・時間がない。



【北区】

① 大変良かった

なし

② 良かった

- ・今回は、議員の方が身近に感じられた。
- ・色々な意見が出た。いろいろな意見、提案が聞けて良かった。
- ・部分的ではあるが、議会の活動について知ることができて良かった。
- ・グループ別の話し合いで踏み込んだ意見交換ができた。
- ・時間が短いと感じた。
- ・教育についての説明
- ・勉強になった。
- ・財政の状況が分かった。

③ 良くなかった

なし

④ どちらとも言えない

- ・広報を読めば良いことで読んでいるだけの様でした。
- ・目的が良くわからない。

【住吉】

- ① 大変良かった
 - ・知らない部分の話がきけました。
- ② 良かった
 - ・普段思っている事が言えた
 - ・グループについて議員さんが丁寧に説明してくれて深まった。
 - ・知らなかった事が分かった。
 - ・いろいろな意見が出て良かったと思います。
 - ・他の参加者の意見を聞くことができた。
 - ・議員さんと会話ができた。
 - ・吉田町内で問題となっている事柄を知ることができた
- ③ 良くなかった
 - ・もう少し詳しい内容が知りたかった。
 - ・テーマが限られている。子供の居場所は子供の権利条約にも関係するので難しい。
- ④ どちらとも言えない
 - ・意見交換についていけない部分があった。

【川尻】

- ① 大変良かった
 - ・いろいろな意見を聞いたりすることができた。
 - ・議員さんの「生」の声を直接聞くことができ、議会でどういうことを話し合っているかも知れてよかった。
- ② 良かった
 - ・分からない事だらけですので、いろんな話が聞けてよかった。
 - ・収支、支出が理解できた。
 - ・去年は、一人の独演会で不愉快でした。丁寧に説明をしてくれてそれだけでも良かった。
 - ・議員さんの仕事の内容が少しわかった。
 - ・話しがよくわかった。
 - ・質問する場となり良かったです。
 - ・町の内容がわかった。
 - ・今回初めて参加して、町議会の内容が少しは理解できた。
 - ・率直な意見交換ができた。
 - ・グループに分けられて意見を言える形が良かった。
 - ・いろいろな意見を聞けたし、言うことができてよかった。
 - ・貴重な話が聞けました。
 - ・気になること聞けた。
 - ・普段から感じていることが直接議員さんに伝えられたので。
 - ・グループで発言しやすい。近くで議員の生の声が聞けてよい。

- ③ 良くなかった
なし
- ④ どちらも言えない
 - ・町民の意見を聴く場を多く設定すること。
 - ・報告はわかりました。

問3 今回の報告内容はいかがでしたか (人)

項目	①よく理解できた	②理解できた	③理解できなかった	④どちらも言えない	合計
人数	6	59	10	13	88

【片岡】

- ① よく理解できた
なし
- ② 理解できた
 - ・大きな数字の内容は理解が不明。
 - ・パワーポイント、図表を利用し要点がまとめられていた。
 - ・体育館・学校の設備、修理を早く、改善を速やかにしてほしい。
- ③ 理解できなかった
 - ・報告内容が浅くたくさんあり、中途半端でした。
- ④ どちらも言えない
 - ・理解できたものもあったし、理解できないものもあった。

【北区】

- ① よく理解できた
なし
- ② 理解できた
 - ・議員の説明で分かった事が多い。
- ③ 理解できなかった
 - ・空家対策について吉田町はどうなっているのか？
- ④ どちらも言えない
 - ・空家対策推進、吉田町はどうなっているのか、前年も意見交換のテーマだったと思いますが。

【住吉】

- ① よく理解できた
なし

- ② 理解できた
 - ・短時間ではこのくらいでよい。
- ③ 理解できなかった
 - ・50%くらい理解。
 - ・決算報告は議員まかせ。
- ④ どちらとも言えない
 - なし



【川尻】

- ① よく理解できた
 - なし
- ② 理解できた
 - ・去年は途中から全く聞いていなかった。聞いていれば頭に入ってくる。
 - ・ほぼ理解できました。
 - ・予算関連で具体的に聞きたい事がありました。
- ③ 理解できなかった
 - ・収支、支出を細かく聞きたかった。
 - ・前回の議会報告会の統括があって、今回の報告に進む事。報告の継続性。
 - ・質疑について、検討するという答えについて、検討した結果はどうなるのか知りたかった。
 - ・数量の説明は、具体性に欠けわかりにくかった。他の説明も専門用語が多くわかりにくかった。
- ④ どちらとも言えない
 - ・時間が少なくもう少し具体的な話がほしかった。

問4 今回の意見交換で関心のあったテーマはどれでしたか。(複数回答可)

(人)

項目	① 子どもの居場所づくり	② “ぎゅっと”カーよしだ	③ 吉田町議会議員定数
人数	47	33	22

【片岡】

- ① 子どもの居場所づくり
 - ・子供自身が居場所を作ってほしい。
 - ・里親等広い意味の居場所を作ってほしい。
 - ・保護者の声を聞く必要があると思う。
 - ・個人事業として事業をやりたいと思う方がすくなからずいると思うので、ヒヤリングをしてほしい。補助金も考慮。

- ② “ぎゅっと”カーよしだ
 - ・ぎゅっとカーよしだにお金をかけて 200~300 人ならその予算をタクシーチケットに利用したらどうか。
 - ・行きの予約はいいが、時間が不明な時利用が困る。
 - ・一人暮らしや足の不自由な人の利用をしやすくしてほしい。
- ③ 吉田町議員定数
 - ・議員報酬が安いのではないか。
 - ・議会の側が議員定数をテーマにされて素晴らしい。
 - ・議員定数を減らす必要はないと思った。

【北区】

- ① 子どもの居場所づくり
 - ・子ども同士の連帯意識が保持されているかどうか？
 - ・空家の活用は？
 - ・北区はボランティアでやっているのを知って継続するのが大変だと思った。
 - ・子どもの公園が北区は少ない、安全な小さな子どもが遊ぶ公園が欲しい。
 - ・子どもの居場所は、もっと良い場所をあたえてあげてほしい。
 - ・内容があまりわからない。
- ② “ぎゅっと”カーよしだ
 - ・「ぎゅっとカー」をご利用されている方を何人かしっていますが、とても喜んでいらっしやいます。皆に利用してもらえるようにがんばってください。
 - ・老人がわかりやすくしてほしい。
- ③ 吉田町議員定数
 - ・議員の方々がこのテーマについて、どうお考えかを聞いて良かった。子育て世代の議員が出てくるように報酬は上げるべきだと思います。
 - ・議員報酬をもっと上げれば（家庭生活ができるくらい）若い人のやり手がやすい。
 - ・議員の定数が多いのか少ないのか具体的にわからない。議員に相談したくてもアンテナを高くしていないと誰が議員なのか、どのように相談してよいのかわからないという人が多い。議員が身近な存在でなくなっている。

【住吉】

- ① 子どもの居場所づくり
 - ・親にもっと沢山ある居場所をPRした方がよい。
 - ・時代の流れかもしれないが夫婦に子どもの構成が多く、おじいちゃんおばあちゃんが子ども孫の面倒を見るのが無くなってしまった世の中になっていることに驚いた。
 - ・学童についての情報を知ることができた。（児童クラブ）
 - ・現在も住吉わっぱくらぶで関わっているので。
 - ・ボランティア活動について知ることができた。情報発信の必要性を感じた。

- ・自分もスタッフとして関わっているのです。

② “ぎゅっと” カーよしだ

- ・少し先の方向性（考え方）まで記載してほしい。
- ・利用させていただいています。助かっています。車を手放した高齢者にとっては続けて欲しいです。
- ・停留所の場所の見直しを考えてほしい。良い使い方があったら教えてほしい。
- ・ぎゅっとカーよしだを利用した事がないので理解できない。しずてつジャストラインの公共交通機関の継続化と必要性との相関検証。
- ・サービス券（300円×3回）で試しに利用したから。停留所の看板を私も運転手も見つけられず、すれ違い乗り遅れを体験した。
- ・いずれ自分も利用する立場だと思うので継続してもらいたい事業。
- ・この種の事業は吉田町のようなコンパクトな町でないと成功しないのではないか。成功するための可能な限りの方策を練り上げてほしい。
- ・利用率を上げるPRをもっとしたら良いと思います。

③ 吉田町議員定数

- ・議員報酬に期末手当が抜けている。
- ・とりあえず、このままで良いのでは。
- ・議会からの問題提起を是非してほしい、住民の意見を聞くことだけではなく。
- ・「若い方を議員に選出するには」のテーマで検討したらどうか。



【川尻】

① 子どもの居場所づくり

- ・給食無償化を進めてほしい。
- ・小学生のかぎっ子を無くす為に児童クラブの料金を下げるべき。
- ・川尻区は、子どもの居場所が少ない。公民館など、もっとオープンにして利用したらどうか。
- ・まず子どもが少ないのを改善するのが先決。賑わいつくり。
- ・子どもの居場所はよく考えられてあると思いますが、公園など外の整備もするのがよいと思う。（草、遊具の整備）
- ・町の将来は子ども達にかかっていると思うので。
- ・子どもの遊び場となる公園の遊具を充実させてほしい。草刈りもして安心・安全で遊べる場所にしてほしい。
- ・子どもも4年生位になると学童はおもしろくないから行きたくないと言います。民間でどこまでできるかわかりませんが、習い事とうまく組み合わせて、親の送り迎え等の負担が少なくなるのは嬉しいなと思いました。
- ・子どもの居場所、ぎゅっとカーの今後のために意見交換できた。もっと有効活用できるようにしてほしい。

② “ぎゅっと” カーよしだ

- ・これからお世話になる機会もあると思う。
- ・使ってみたいと思いました。
- ・ぎゅっとカーよしだについて、まだ未完成だと思う。もう少しこれから考えていく必要がある。
- ・ぎゅっとカーよしだは今後必要になるサービスだと思うので未来の町づくりを考えると続けてほしい。

② 吉田町議員定数

- ・自治会長経験者が地域の実態がわかっているので議員になってほしい。
- ・議会活動が活発でない。議員活動に応じた報酬及び定数を考えると、定数は減、報酬は現状。
- ・住民からの意見も大事だが、現議員が現状をどう感じどう改善したいか知りたい。議員のなり手が増え、選挙が実施できれば定数も変わってくると思う。

問5 議会報告会や議会に対して、ご意見・ご要望があればご記入ください

【片岡】

- ・湯日川の町側の管理をしてほしい。
- ・草が伸びて河川を覆っている時期が多すぎる。
- ・小山城広場でグラウンドゴルフを行っているが、町よりの維持費の支給がないため、愛好会のメンバーが年 500 円/1 人出して、芝・土を購入し対応している。他の広場は町よりの補助が出されているようだが。
- ・参加させていただいき、ありがとうございました。グループ討議を含め大変参考になりました。
- ・これからも形にはまった意見交換でないもので行ってください。

【北区】

- ・議員は10人位で良いのでは。
- ・初めて参加させていただきました。議員の方々が、町のために働いて下さっている事に頭がさがる。より魅力的な吉田町となるように、これからもよろしく願いします。
- ・議員が身近な存在ではなくなっている。
- ・今後も定期的な開催をして町民との会話機会を増やしてほしい。
- ・もう少し活動内容をわかりやすく発信してほしいです。
- ・出席者のほとんどが自治会の関係者であるが、もっと地域住民が出席できる（出席したいと思う）会になれば良いと思った。

【住吉】

- ・意見交換するだけの情報が足りない。
- ・もっと多くの人に参加できたらよい。

- ・ゴミステーションは町内会に入っていない人の利用をどうするのか。
- ・空き家は持ち主が不明だと何の対策もされない件をどうするのか。
- ・住民がもっと多く参加できるようになるといいと思います。

【川尻】

- ・知らない所が報告されて良かった。
- ・閉会中の委員会活動を行う。
- ・空き家対策は民間意見も聞き前進して下さい。また、町民の声を聞く場所を作ってほしい。

※ 吉田町都市環境課に空き家の情報を提供すれば、町が調査を行う。

- ・ゴミ袋の大きさが小さい。通常の 45ℓ のゴミ箱にセットできないのももう少し大きくしてほしい。
- ・川尻区を、ぜひ盛り上げてほしい。議員が川尻南にいないからこの現状なのか？
- ・前回の報告会について結果報告がない。
- ・ゴミ袋を大きなものに変えてほしい。
- ・ゴミ袋を大きくする（金額は今と同じ）、今の袋は減額して2種類使用。
- ・公共トイレの見直し（例・川尻会館付近（旧すみれ保育園）に設置。川尻お休み（大道公園）のトイレの最新化（男女各2つ以上）。

※ 地域のコミュニティーやお祭り等で必要。

- ・報告会は継続して実施してほしい。
- ・司会の思いが多く、皆さんの思いが十分聞くことができなかった。
- ・小・中学校に行ってみて下さい。少し予算を回して下さい。ちゃんと整備されていない所が多く、子どもが落ち着いて学べる環境を作ってやって下さい。
- ・バス停近隣に有料でもいいので駐車場をつくってほしい。駐車場がないとバスも使いづらい。
- ・魅力ある吉田町として、今、用宗の海沿いがとてもにぎわっていて、人もたくさん来ています。海の近く、津波の心配があってもうまく活用できている所があるので、有効なお金の使い方をしてほしいなと思います。
- ・少子化対策、吉田町の目玉となるようなものを作ってほしい。例えば、中学費用に使える町の商品券プレゼントなど。
- ・今日の意見を少しでも実現できるようにしてほしいです。子どもの居場所についてもっと良い方向に向かってくれたらうれしいです。公園の充実が実現できるよう期待しています。
- ・車に乗れない人は、急いで出掛けたい時に利用出来る方法を考えてもらいたい。例えば、タクシー利用券の発行等（町が一定額を補助する）



2 質問・意見のまとめ

(1) 報告に対する質問・意見

【一般決算報告について】

① 片岡

- ・ふるさと納税の寄附額 11 億の使い道は。貯金はしないのか。
→寄附する際に使い道を指定する仕組みで、「町長にお任せ」は一般財源に繰り入れられ、防災などの使用を指定した場合は「指定寄附金」として目的ごと基金として積立てられ、目的に応じた事業に使われる。令和5年度の積立金残高は約5億3,900万円である。
- ・庁舎管理費の雨漏りに予算が確保していないとは、どういうことか。
→庁舎全体の雨漏りに予算は確保していないということで、今後の当初予算で質していく。
- ・資料上の主な歳出の各項目と、広報よしだの円グラフ上の歳出と比較ができないので分かりにくい。
- ・普通建設事業費は土木費のどの部分を指しているのか。町内道路の整備がなかなか進まない。でこぼこだらけである。
- ・役場前の自動交付機を撤去した理由は。
→交付機はリース契約で、契約期間満了を機に撤廃を決断したとのこと。コンビニでの交付なら窓口より安く、全国で発行できることなどのメリットがある。
- ・コンビニ交付は、高齢者には簡単ではない。
- ・コンビニ受診とはどういう事か。
→休日や夜間になどの外来受診を行っていない時間に、緊急性の低い軽症の患者さんが自己都合で気軽に救急外来などを受診すること。

② 北区

- ・決算の数字について、前年度等との比較が無いので、分かりづらい。
- ・町の借金を減らす努力を。

③ 住吉

- ・ふるさと納税の入りの金額はわかったが、吉田町の財政を減らさないためにふるさと納税は利用しないという方から吉田町からの出はいくらかとの質問。
→吉田町民の他自治体へのふるさと納税額は公表されていない。
- ・4ページ目・総務費・情報化推進費の答えだが、業務を削減できたことで経費削減になったのか、どのくらい削減になったのか。
→金額の報告がないのでわからない。

④ 川尻

- ・町の自主財源が限られており、国の交付金や補助金に頼らざるをえないため、独自の施策を行うのは難しいのではないかと。
- ・AI 相談パートナーの使い方について、今後の活用をどのようにしていくのか。例えば、議会だよりに使えるのではないかと。
 - 行政側で昨年度から試行している。議会での活用は現在されてない。今後、議会だより記事の作成時に使用できるようになるかもしれない。
- ・予算どおりにお金は使われているのか。前年度より歳入 1 億減収で歳出 3 億 5 千万増額になったが大丈夫なのか。
 - 予算においては歳入、歳出同額である。年度中、何度か財源を確保した上で補正予算が生まれ、結果として歳出は昨年度よりも増額になっている。歳入については、歳入と歳出の差引額が 4 年度の約 10 億円に対して、5 年度は約 6 億円であり、予算を効率的に使ったと言える。
- ・町の借金残高の推移では 9 2 億円あるが大丈夫なのか。
 - 町債は長年にわたり使用される町の事業のための借金である。事業を行った時にその費用をその年度の町民の方に全額負担して頂くのではなく、長期間恩恵を受ける多くの町民の方々に少しずつ分割して負担して頂くものである。18%以上が警戒ライン、25%以上が危険ラインとされる借金の返済などの負担の大きさの比率である実質公債費比率は吉田町は 10.7%で問題の無い領域である。
- ・ふるさと納税はどれくらいの金額なのか。
 - 令和 5 年度決算では約 1 2 億円の寄附金額がある。
- ・町の積立金はどれくらいの金額があるのか。
 - 基金という形で、目的ごとに幾つもの積立している。財政調整基金として約 1 9 億円、ふるさとよしだ寄附金基金として約 5 億円などがある。



【委員会報告等について】

① 片岡

- ・焼津市には、「困りごと マルっと、サポートセンター」というものがある。参考にしてください。
- ・吉田町の空き家対策の状況は。
→住吉27件 川尻18件 片岡6件 北区6件（令和5年7月31日現在）
- ・人口が減少すると、空き家が増えていくのか。
→増加していくかもしれない。壊すのにお金もかかる。吉田町はまだ進んでいない。

② 北区

- ・空き家対策の視察先の状況は分ったが、吉田町の状況はどうか。町の対応はどうか。
→まちの対応が他市町と比較して遅いと感じている。空き家等対策会議は設立され、令和2年3月と令和3年2月に連絡会議が行われているが、あまり進捗していない。
- ・空き家と同じように、耕作放棄地も問題。虫の発生がすごく、役場にも言った。
- ・空き家・放棄地の問題を静岡市はプロジェクトを作って対策を検討している。
- ・空き家は近所にもあり、町の把握は少ないか。
- ・自治会を通して、より詳細な実態把握をしてはどうか。

③ 住吉

- ・富士市、掛川市の空き家の数に対し、吉田町では空き家の件数57戸と確認しているというが、もっと多くあるのでは。
- ・富士市では水道のメーターの状況から、空き家を確認している。吉田町も水道メーター等からも空き家を確認する必要があるのでは。
- ・空き家を確認しても、所有者が他の都市にいて探すのが大変。
- ・空き家が災害にあった時は自分の保険で解決するが多い。
- ・空き家で雑草が問題となっているものは、役場から連絡がいく。
- ・所有者と連絡の取れない空き家がある。固定資産税などはどうしているのか。
→空き家の所有者には連絡はしている。しかし、空き家の所有者の住所を明確にできない場合がある。
- ・廃墟化した空き家に対し、行政執行などはできないのか。
→特定空き家に認定すれば行政執行は可能であるが、現在は特定空き家の認定はない。
- ・そのままでは景観や安全性に不安がある。
- ・犬の散歩をしていて、この家には人が住んでいるのか疑問に思う事がある。
- ・ゴミ屋敷のような家がある。

・どちらの委員会もこの先どうするか、どう動くのか。今後の方向性が分からない。報告の中にある。

→委員会の活動や内容についての報告であり、各委員会は調査を進めていき、当局に提言できることがあればしていく。

- ・空き家が多いと思う。害虫が入って困ると思う。
- ・吉田町の空き家対策はどうなっているのか。報告の中にはなかった。
- ・見た感じでも大浜地区には2軒くらいある。
- ・今日この場で得た情報をもとに、議員も動いて確認するべきだ。

④ 川尻

- ・固定資産税を払っていても、管理できていないところが問題である。
- ・管理について町が強制的に対応を求めることはできるのか。

→管理不全空き家（放置すれば作定空き家となる空き家）に対し、市町村が指導・勧告を行う。勧告された空き家は土地に関する固定資産税の住宅地特例（1/6等）がなくなる。

- ・高齢化が進み空き家になる。空き家になってからではなく、その前に考える必要がある。
- ・町内の空き家の数は。
- ・利活用とか処分はできないのか。
- ・常任委員会は二つしかない。特別委員会を設置して発議をする。意見を言うのが議員の役目。



(2) 意見交換

A 子どもの居場所づくり

① 片岡

- ・子供の居場所づくりとは何か。地域の人がかかわったらいいのか。
- ・共稼ぎが増え、一人っ子家庭の子どもが平日寄っていけるような所を目指しているのか。もっと作ろうとしているものなのか。
- ・児童館がいつでも関わられる環境なら、一人っ子のみではなくみんなに関わられる場所として良いのでは。
- ・行政が行っている放課後児童クラブで、はみ見だしている子どもはいないか。児童クラブは宿題を主にした活動となっており、楽しく関われない子どもがいる。そのような運営ではなく子供が楽しく関わられる居場所を個人で自宅や空き家などを活用して作りたいという方がいる。補助金などの協力がないと事業ができないため応援体制が欲しいと聞いている。
- ・子ども会の活動が減っている。補助金は足りているのか。
- ・子ども会はどうなっているのか。お祭りでの子ども会の子どもが少なくなっている。保護者の地域への思いが希薄になっている。
- ・地域活動の運営スタッフが少なくなっている。子供の参加者が少ないのか。

- ・スポ少の加入状況はどうか。
→全体的に減少傾向である。
- ・本当に困っている人にもっと寄り添った多重的な対応が必要ではないか。
民生児童委員は二人しかいない。
- ・役員などの負担が多いとの理由で、子ども会にかかわらない保護者もいる。
- ・放課後児童クラブがあるが7000円もかかる。英会話や資格を取らせるような、特化したことをやるほうが良いのでは。
- ・7000円で子供の居場所づくりを教育の中で行っているが、前は自分たちで考えながら遊んでいた。子供の居場所を大人が作っていくのは寂しい。
- ・子供の意見に選択肢を持たしたほうが良いのでは。
- ・子ども食堂は、町内にあるのか？
→はあとふるで、不定期に民間が行っているが、町としてのものはない。

② 北区

- ・子どもの居場所—居場所とは何か。学校や子供との関わり方が分からない。
PTAや子供会に入らない人が増えているそうだが、地域の催し（町内会など）との関わり方を強めることも必要ではないか。
- ・児童公園—北区には児童公園がない。オアシス館の広場で遊ぶ子が多い。新しい家ができているので、児童公園をほしい。
- ・子どもの居場所づくりの観点で、空き家を利用することはできないか。現状、空き家の担当課と子どもの居場所づくりの担当課が連携して対策するようなシステムは無いのか。
- ・放課後児童クラブを利用したいが定員オーバーで使えないことがあったと聞いている。
- ・放課後児童教室など指導者の高齢化が心配。継承者が居ないためにいくつか掛け持ちで指導している人もいる。
- ・以前は子どもが家に帰れば誰か家族が居て子どもの面倒をみていたが、今は核家族化、共稼ぎが進んでいるので子どもの居場所が必要である。
- ・今は子ども同士の連帯意識が薄れていて、遊びをとおしての近所付き合いが無くなってきている。〇〇ちゃんの家で遊んでいることが分かっていると親も安心していられる。
- ・学校の先生が忙しいのと同時に、生徒も学校が終わってから塾やスポーツクラブに通ったりしているので、先生と子どもが接する時間を増やしてほしい。
- ・児童館では子どもが自主的に遊べる場があり、自分で決めて自分で行動するので生き生きしている。
- ・北区のわくわく教室に参加者（子供達）が100名くらいいる。ボランティアスタッフが平均年齢70歳以上で指導員が少ない。町で受け皿を考えて進めて頂きたい。

③ 住吉

- ・放課後子供教室は地域の人協力が力になっている。
- ・“住吉わっぱクラブ”については、補助員が高齢化してしまった。
- ・補助員の方には、事業ごとの協力を要請している。
- ・習い事（塾・スポーツ少年団等）へ行っている子が多い。
- ・先生が一生懸命やってくれているが、補助員の減少と高齢化の問題解決には組織化の必要があるのではないか。
- ・子供が少なくなったことと同時に、町内会へ加入しない人が増えてきたのも大きな問題だ。
- ・住吉では地域の大人がこどもの通学の見送りを行っているが、少子化の進行で見送りの大人の数の方が多い。
- ・放課後児童クラブは現状どのような預かり方をしているのか。内容や料金について説明を求められた。
- ・人のつながりが希薄。少子化で遊んでいる子どもを見かけない。
- ・子ども同士のとつながりが無い為、子ども同士で遊ばない。
- ・イベントによる交流が必要。地域で子どもを育てる必要がある。
- ・帰宅後、自宅で2～3人で勉強をしたり、自転車で買い物に行ったりしている。
- ・昔は西浜に児童館があり、大勢が遊んでいたが、今は遊び場が無い。
- ・こどもの集団が小人数である。
- ・施設を作っても、利用が少ないかもしれない。
- ・昔は親が放任主義的で子どもたちが勝手に遊んでいたが、今は安全面で何かあれば責任を負う事になるから、子どもだけでいる事が無くなった。
- ・何が言いたいのか分からないので、意見のしようがない。
- ・放課後子ども教室は保護者にPRが行き渡っていないのでは。
- ・居場所作りのための事業をしているのは分かるが、親の姿勢が大切。親に教えるべきである。
- ・町の学童もあるので、居場所はいいのではないかな。
- ・昨年社会教育フェスティバルを開催した。関係する団体が集まり協議を重ね初の開催となった。話し合いの中で2年に1回開催することを決めた。みんなに知ってもらいたい。

※「社会教育フェスティバル～つながろうよしだ～」が令和5年7月30日に総合体育館において初めて開催された。各団体の子どもたちが楽しめる体験ブースなどを設置し、子どもたちと各団体が楽しく交流することができた。主催は吉田町社会教育委員会で、協力が住吉わっぱクラブ・かわしりっ子わんぱくサークル・片岡きらめき塾・自彊わくわく教室・スポーツ少年団・NPO法人eとこ吉田・コミカレねっとわーく吉田・ボーイスカウト吉田第2団・国際交流協会であった。

④ 川尻

- ・西の宮公園の遊具が壊れたままであり、全部テープが貼られている。ただの広場になっている。子どもの居場所づくりを考えてほしい。
- ・そもそも子どもがいない隣組もある。そちらも課題である。
- ・子どもが、どんぐり教室に行っている。無料でめんどうを見てもらいありがたい。
- ・姉弟でどんぐり教室を利用しているが、姉は続けており楽しくすごしているが、弟の方は途中で止めてしまった。子どもにより向き不向きがあるようだ。
- ・今の子ども達は、ほとんど家の中で遊んでいる。空き地とかで集団（数人）で遊ぶ様子はない。2, 3人でゲーム、YouTube が主流。これが、良いことなのか、悪いことなのか判断できない。
- ・小学1年で、学校支給のタブレットを使い「YouTube」を見ている。規制、制限は出来ないのか。
- ・学童などの利用料を安くして、利活用しやすくしてほしい。
- ・学童利用者の数は増えていると思うが、その状況は。
- ・民間の学童もあるので、公立と民間が共存し、継続できるようにバランスを取って欲しい。

B “ぎゅっと”カーよしだ



① 片岡

- ・不満がある。だれでも利用できるというが、停留所が離れている人は利用しづらい。最初のごみステーションで乗れるということで、もっと停留所が多いと思っていた。運営する会議に参加したが、その時の意見が通っていない。申し込みでスマホが活用できない人もいる。活用できない人をどう考えるか。車いすの方にも利用してもらうことも大切なのでは。
- ・ぎゅっとカーよしだには、どのくらいのお金が掛かっているのか。令和5年度1200万円ほどの町のお金が使われた事業ということをもっと町民に知ってもらい、利用してもらうようにしたほうが良い。
- ・委員会で調査をして、子ども会の集まりなどで報告したほうが良い。
- ・ぎゅっとカーよしだは5000万円の経費で、年間300人の利用者では、一時立ち止まって止めていくほうが良いのではないかと。
- ・都会暮らしの方は吉田では車がないと不便であるのであったほうが良いが。
- ・1%の利用者では、いかななものかと思っている。
- ・「行きは予約でよいが、帰り時間の予約は不便で困る。」という声がある。これは大きな問題である。

③ 北区

- ・ぎゅっとカーは高齢者が外出するのに必要だが、ネットやスマホは使えない人が多い。申し込みや予約をやりやすくしてほしい。

- ・ 値段的に榛原病院片道 500 円は高いのではないか。往復で 1000 円となる。
- ・ 行きはいいが帰りは待ち時間が非常に長く感じて使いにくい。
- ・ 「図書館の臨時休館日に予約をしてしまい、降ろされた後に休館日と分かり、かつ、携帯を忘れていたため、帰りの予約時間まで 2 時間待ったことがある。」と聞いた。電話予約時に、その日は休館日であると忠告してくれるような事はできないか。
- ・ 朝ぎゅっとカーが空で走っているのを見る。子どもの利用を増やす施策はないのか。

→通勤・通学で利用する場合は、IC 定期券（ルルカカード）を利用すれば運賃が 100 円割引となる。

- ・ いずれ免許返納の時期が来ることを考えると良いことを始めてくれたと思う。
- ・ 料金が近くまで行っても遠くまで行っても同じなのは少し改善できないか。
- ・ 付き添いが一緒に利用すると割高感がある。
- ・ 車イスのお年寄りが乗車出来ないか。
- ・ 帰りの時間が読めない。
- ・ 停留所、乗り場の再考は出来ないか。
- ・ 会員規則の文章表現におかしい所がある。

③ 住吉

- ・ 免許証を返納した方はこの制度で非常に助かったが、医院で時間がかかり帰りの予約時間に間に合わず、帰りはタクシーを使った。最終の予約時間を遅らせないか。
- ・ 利用の仕方をもっとアピールしてほしい。
- ・ いつもうまく利用している方の上手な使い方の広報をしてほしい。
- ・ 住吉の中通りを運行路に入れてほしい。
- ・ 体の不自由な人の利用方法は。
- ・ 現状は運転ができるため利用機会がなく、仕様があまり分からない。
- ・ 福祉カーとしての役割を増すのはどうか。
- ・ 無料券で利用した。藤枝へ行くのに近いところ、と大幡まで利用した。
- ・ 停留所の看板が表書きだけなので、方向によっては確認できない。
- ・ 一般的なバス停の時刻表のような、立て看板だとよくわかる。
- ・ 路線バスを降りる時間を調べて確認してから予約した。
- ・ 停留所まで歩けないのでタクシーを使っている。（ドア to ドアが望ましい）
- ・ 公共ライドシェアについての質問があった。
- ・ 試験運転はいつから始まりいつまでか。数字が出るとよかった。
- ・ 特に利用されている場所はどこか。
- ・ 高齢者にとって使いやすいか、疑問に思う。
- ・ 高校生や若者は車でなくても、自転車で行ける。
- ・ 停留所の時間を決めて、回った方がより効率が良いのではないか。

- ・年齢層はどうなっているのか。報告はあるのか。高齢者か、高校生が利用するのか。
- ・業者を圧迫していないか。
- ・高校生が利用するか？
- ・有効だと思う。頑張ってください。
- ・タクシーチケットを1か月に5枚渡す方が良い。

④ 川尻

- ・バス路線と同じようにルートを作って走るほうが子供たちも利用するのではないか。
- ・医者への帰りに頼んだ時に、1, 2時間待たされることもある。
- ・民生委員をしているため、体験した。とても良い。人に勧める。登録は、電話で行いスムーズにできた。難を言えば、停留所が少し遠い。
- ・将来の利便性を考えれば、良いものである。実験中の利用者が少なくても安直に成否を判断するものではない。
- ・停留所まで遠くて、高齢者は行けない。
- ・少し高くてもタクシーを使う。

C 吉田町議会議員定数

① 片岡

- ・人数は適正であると思う。報酬は上げてよいと思う。
- ・政務活動費をもらっていないが、安いと思っている。もっと貰ってもよいと思っている。
- ・無投票選挙だから減らすというものではない。13人でよい。
- ・焼津市の議員報酬は、月約40万円、若い人が生活できるだけの報酬は必要である。
- ・吉田町の議員13人で良心的な報酬である。
- ・定数を減らすならば報酬をその分上げればよい。
- ・定数を減らして、やっていけるなら良いが不都合があるならば減らさなくても良いのではないか。
- ・議員の数は、議員の人たちはどう思っているのか。
- ・今過不足なくやれていると思うか。
- ・選挙がないのは良くない。
- ・議員報酬を上げてはどうか。

② 北区

- ・議員に相談するのは敷居が高い。
- ・今の報酬では若い人は議員になりたいとは思わないのでは。
- ・議会、議員の活動をよく知らない。よって、議員定数は何人が妥当かと聞か

れても答えられない。もっと議会、議員の活動を紹介して欲しい。

- ・議員定数は現状の13人が妥当と思う。減らしすぎると町民の声が議会に反映されないように思う。
- ・議員定数は今の13人のままで良いと思う。それよりも、もっと議員歳費を上げて若い人が議員になっても生活できるようにしないと成り手がなくなる。
- ・議員が減ると町民とのふれあいの機会が減ってしまうので良くない。議員が増えたほうが大きい意見も小さい意見も聴いてもらえる。
- ・地区によって議員数に偏りがあるので、人口に比例した割り振りはできないか。→吉田町全体が一つの選挙区なので、どの地区から何人出てよい。
- ・現況13人中欠員1名で出来るならこの状況12名が良いのではないか。
- ・議員報酬は同じで良いのではないか。後は、議員で考えてほしい。

③ 住吉

- ・報酬面で若い人の成り手不足について説明し、一定の理解があった。
- ・定数減になっていったいきさつについて質問された。
- ・小人数にして報酬を上げる。
- ・議員がどれだけ大変かわからない。
- ・月の報酬が載っているが、賞与ももらっていますよね。
- ・報酬ばかりではなく、議員が費やす時間はどのくらいか。どれだけの時間働いているか、時給換算してみたらどのくらいなのか。

④ 川尻

- ・定数は少ないほうが良い。
- ・報酬が28年上がっていないと説明だったが、一般は30年上がっていない。
- ・定員不足で無投票は良くないことと思う。議員さんも緊張感をもってやって欲しい。
- ・13人は、妥当であると思う。
- ・現状の議員の仕事が、正直わからないので簡単に言及できない。
- ・人口比で決められないのならば、現職の方々がどう思っているのか分からないなかで、ものは言えない。
- ・この報酬では、若い人は議員になれない。他の収入源があれば出来るが、会社勤めでは無理。
- ・選挙が行われることは重要。



(3) 自由意見

① 片岡

- ・防災に関して、町と自治会・防災士の方たちと協力して行って欲しい。
- ・小山城前広場の管理について、広場の管理費はないのか？
芝刈り機などの修理等に経費が掛かる。片岡西下片岡のグラウンドゴルフ同好会で一人500円出して管理費をまかなっている。毎年要望を出しているが変わらない。どうにかならないか。
- ・防犯カメラの設置の件で役場に相談をしたが、企画→建設→福祉と回され、結果明確な答えが出てこなかった。
- ・リニアの問題が心配である。水が無くなってからでは、どうにもならない。子供や孫たちに、何をやっていたんだと言われぬように責任をもって繋いでいきたい。
- ・中学の部活の件を議論する会議に自治会として出席するが、議員が出席していないのはなぜか。

② 北区

- ・通学路の問題—須藤鮮魚店の近くはダンプなどが通って危ない。
- ・河川清掃で5月に草を刈ったが、今は背が高い草が繁茂し手に負えない。
(第1・第2大窪川)
- ・小学校では書き取りの宿題がある。昔は先生が赤ペンで直したが今は×だけで返される。先生は「子どもの自立を求めるため」と言っているがいいのか。
- ・農地を持っているが、あちこち点在していて稼働効率が悪い。作物を作りすぎた場合があった時は子ども食堂に寄附したいが吉田町には有るか。
→吉田町には無いが、「はあとふる」で相談にのってくれる。
- ・CSディレクターとして協力している。役場の役員名簿に掲載して頂きたい。

③ 住吉

- ・ごみ収集場所が通学路や側溝沿いなどにあり、勝手が悪い。場所の改善を求む。
- ・町内会への加入が増えない。町は住民票の移動時などに加入をお願いしているのか。
- ・町内会非加入世帯が町内会の集積所にごみを出すことによるトラブルの懸念がある。町は非加入世帯のごみ出しに対し、どのような指導をしているのか。
- ・地域の人口が減っている。新しい宅地スペースもないので、休耕田の宅地への転用なども考えてほしい。

④ 川尻

- ・昨年の報告会での意見へのフォローが足りない。議員ができること、自治会と協力してできること、分けて記載して見える化することをしてほしい。議会の本会議以外での質問、議会活動が見えてこない。報告会での皆さんの意見をもっと突っ込んで解決してほしい。いつも繰り返して、どう進んでいくのか見えてこない。

- ・意見を町へ届けた後の結論を、自治会へ議員が説明するところもあるが、もっとそのようなことをしていかないと見えてこない。
- ・20年前から吉田へ住み始めた。当時医療費が無料で魅力的だったが、今はどうなのか。
- ・広報で、吉田町が力を入れているところを特集ページとしてもっとPRをしてほしい。
- ・子どもが少ないので、給食費を無料にしてほしい。
- ・防潮堤のにぎわいづくり、吉田公園南側町有地の活用を推進していけば子どもの居場所や空き家などの課題も解決につながるのでは。
- ・都市計画が弱い。防災との兼ね合いの都市計画に、少子化、排水も取り入れてほしい。
- ・地域から駄菓子屋さんが無くなってしまい、杏林堂でゲームをしている子供を見ることがある。地域で空き屋を使って駄菓子屋さんをやってほしい。
- ・子どもが遊ぶ施設があったらよいと思う。島田市のような遊具を入れてほしい。
- ・前は、小学生は子供会に全員入っていたが、親が役員をやるのが大変だとのことで、子ども会に入らない子どもがいる。朝の通学も別に行っている。
- ・子ども会に入っている人に、特典サービスカードを作ってほしい。
- ・バス停に駐車場が無いので有料でもよいので作ってほしい。
- ・地域社会が変わってきている。親も挨拶しない時もあるので子供にも影響するのではないか。
- ・民生委員のなり手が無い、ボランティアでやっているので大変になっている。報酬など考えて欲しい。
- ・片岡会館で議会報告会があった時、子供たちの体操教室をいつもより10分早く終わらせたのにロビーで待っていた議員さん達の子どもたちへの「ありがとう」の言葉がなかった。残念だった。
- ・一人暮らしの家で、樹木が道路上に伸びていて、通行に邪魔であるが、剪定をしてくれない。自治会として選定をしようとする拒否される。何とかならないものか。
- ・火葬場の建設費用と、各市町の負担は。
- ・税金の不払いへの対応が、吉田町は緩い、やさしい。



(1) 子どもの居場所づくりについて

1. 子どもの居場所づくりについての疑問や意見

- 子供の居場所づくりとは何か。地域の人がどうかかわったらいいのか。
- 放課後児童教室など指導者の高齢化が心配。継承者が居ないためにいくつか掛け持ちで指導している人もいる。町は対策を考えて欲しい。
- 子どもの居場所として、空き家を活用する考えはあるか。それぞれの担当課は連携して対策して欲しい。
- 北区はボランティアでやっているのを知って継続するのが大変だと思った。
- 子どもの居場所は、もっと良い場所を与えてあげて欲しい。
- 子どもの意見を聞いて様々な居場所を作り、選択肢を増やすのが良いのでは。

2. 少子化や地域活動への関与の減少に関する意見

- PTA や子供会に入らない人が増えているそうだが、地域の催しとの関わり方を強めることも必要ではないか。
- 子供会はどうなっているのか。お祭りでの子供会の子どもが少なくなっている。
- 子供会の活動が減っている。補助金は足りているのか。
- そもそも子どもがいない隣組もある。そちらも課題である。
- まず子どもが少ないのを改善するのが先決。少子化対策。賑わいづくり。

3. 放課後児童クラブなどに対する意見

- 放課後児童クラブがあるが7000円もかかる。英会話や資格を取らせるような、特化したことをやるほうが良いのでは。
- 放課後児童クラブは宿題を主にした活動となっており、楽しく関われない子どもがいる。
- 小学生のかぎっ子無くす為に放課後児童クラブの料金を下げるべき。
- 子どもも4年生位になると学童はおもしろくないから行きたくないと言います。
- 学童などの利用料を安くして、利活用しやすくして欲しい。
- 児童館は子どもが自主的に遊べるので、子どもたちの行動が生き生きしている。

4. 公園や遊び場の整備に関する意見

- 西の宮公園の遊具が壊れたままであり、全部テープが貼られている。ただの広場になっている。
- 子どもの公園が北区は少ない、安全な小さな子どもが遊ぶ公園が欲しい。

- 子どもの居場所はよく考えられてあると思いますが、公園など外の整備もするの
がよいと思う。
- 子どもの遊び場となる公園の遊具を充実させてほしい。

5. 地域や社会のサポートが必要な意見

- 子どもの意見に選択肢を持たしたほうが良いのでは。
- 本当に困っている人にもっと寄り添った多重的な対応が必要ではないか。
- 放課後子供教室は地域の人々の協力が力になっている。

6. 学校教育

- 学校の先生は忙しい、児童生徒は学校終了後塾やスポーツクラブなどに行く、先
生と子どもが接する時間を増やしてほしい。
- 学校支給のタブレットを使い「YouTube」を見ている。規制、制限はできないか。

7. その他の具体的な要望・提案

- もっと子供たちが安心して遊べる場所の整備が必要と感じる。
- 給食無償化を進めてほしい。
- 里親等広い意味の居場所を作してほしい。

(2) “ぎゅっと”カーよしだについて

1. 利用の利便性・停留所・予約システム

- 利用者が停留所まで遠くて利用しづらいという不満がある。また、「ごみステーションで乗れる」という期待があったが、停留所が少ない。運行開始前の住民会
議での意見が反映されていない。
- スマホやネットを利用できない高齢者への配慮が不足している。
- 停留所の場所が見つけづらい、または遠すぎるという意見が多い。（ドア to ドア
のサービスを希望）
- 利用方法や停留所に関する看板がわかりづらい。バス停のような明確な表示を求
める。
- 予約システムで図書館の休館日や診療所の休診日などの情報を事前に伝える仕組
みがあれば便利。

2. サービスの継続と PR の必要性

- 「ぎゅっとカーよしだ」が今後も必要なサービスであり、利用者を増やすための
PR や利用者の声の周知が必要。

- ・ 利用者が少ない現状、簡単に廃止を決めるのではなく、改善のための取り組みが必要。
- ・ 実験段階での利用者数をもって即判断するべきではない。

3. 費用・運賃に関する意見

- ・ 近距離も遠距離も料金が同じなのを改善して欲しい。
- ・ 榛原病院への往復で 1,000 円は高く感じる。料金体系の見直しを希望する声がある。
- ・ 付き添いがいると割高感がある。
- ・ 予算の有効活用として、タクシーチケット制度を導入した方が良いのではないか。
- ・ 利用者数と費用のバランスが取れていない。費用対効果を考慮して見直すべき。

4. 高齢者・体の不自由な人の利用促進

- ・ 車いす利用者や体が不自由な方にとって、もっと利用しやすい形に改善してほしい。
- ・ 高齢者にとって分かりやすいシステムにしてほしいとの要望が多い。

5. 若者や子どもなど他の利用者層の利用促進

- ・ 高校生や若者は自転車で行けるため、利用対象が高齢者に限られることが多い。
- ・ 子どもが利用しやすくするため、停留所やルート設定の再検討が必要。

6. 今後への要望・改善

- ・ 将来、免許返納が必要になる高齢者の増加を見据えて、続けてほしい。
- ・ 実際に利用した人からは便利であるとの意見もある一方で、停留所の見直しや、PR の工夫が必要。
- ・ 利用者が「上手に使っている例」を広報することで、他の人にも使いやすくする工夫が必要。
- ・ 「吉田町のようなコンパクトな町」だからこそ成功する可能性があり、成功に向けた努力が必要。

(3) その他意見

1. 防災・防犯

- ・ 防災活動において、自治体、自治会、防災士が協力して取り組んで欲しい。
- ・ 防犯カメラ設置に関して役場へ相



談したが、担当部署間で対応が回され、明確な回答が得られなかった。

2. 空き家・土地利用

- 町内にも空き家があり、役場の把握が不十分ではないか。
- 空き家の状況について、自治会を通して、より詳細な実態把握をしてはどうか。
- 空き家対策について、所有者不明の空き家への対策と、民間の意見も取り入れた進展を求む。
- 空き家で雑草が問題となっているものについては、役場で対応して欲しい。
- 所有者と連絡が取れない空き家があり、固定資産税の扱いがどうなっているのか。
- 廃墟化した空き家に対して行政執行などの措置は取れないのか。
- 空き家が放置されることで景観や安全性に不安がある。
- 空き家が多く、害虫が入って困るケースがある。
- 町が空き家の管理について強制的に対応を求めることはできるのか。

3. 地域インフラ・公共施設の管理

- 小山城前広場の管理について、芝刈り機の修理などの費用がかかるが、町からの管理費がないため、愛好会メンバーが個人負担している。町からの支援を求む。
- 湯日川の町側の管理、特に河川清掃や草刈りの管理が不十分で、草が繁茂して手に負えない状態。
- 公共トイレ（例：川尻会館付近、大道公園など）の最新化を希望。
- 新火葬場の建設のスケジュール、費用と市町の負担についての情報が欲しい。
- 町内道路の整備がなかなか進まない。でこぼこだらけである。

4. 学校・教育関連

- 小学校の宿題で、先生が×だけつけて直さないで返すことについて、教育方針として良いのか疑問。
- 小・中学校の設備でちゃんと整備されていない所が多い。子どもが落ち着いて学べる環境を整えて欲しい。
- 中学校部活動の議論の場に自治会は出席するが、議員が出席していないのはなぜか。
- 通学路の安全確保（例：須藤鮮魚店近くのダンプ車の往来が危険）。

5. 子育て支援・少子化対策

- 少子化対策として、町の魅力を高める施策や、中学費用に使える町の商品券のプレゼントなどを検討して欲しい。
- 給食費を無料にすることを検討して欲しい。

- 子どもが遊べる施設や、島田市のような遊具の導入を検討して欲しい。

6. 町内会・住民サービス

- 町内会への加入が増えない問題について、住民票の移動時に町が加入をお願いしているのか疑問。
- 町内会非加入世帯がゴミステーションを利用することによるトラブルがある。町の対応を求める。
- ゴミステーションの設置場所が通学路や側溝沿いにあるため、場所の改善を求む。
- 大きいサイズのゴミ袋（例：45ℓ）を料金は同額で作って欲しい。
- 役場前の自動交付機を撤去した理由は。
- コンビニ交付は、高齢者には簡単ではない。

7. 地域の活性化・町の魅力向上

- 吉田町の取り組みや魅力を広報で特集ページを設けてPRして欲しい。
- 用宗のように、海沿いのエリアを活用した賑わいづくりを検討して欲しい。
- 防潮堤の活用や、町有地の活用を進めて欲しい。
- 地域人口が減少している。宅地スペースを増やすために休耕田の宅地転用を検討して欲しい。
- バス停近隣に駐車場（有料でも可）を設置し、公共交通の利用を促進してほしい。

8. その他

- 民生委員のなり手が少ない。報酬などの対策を考えてほしい。
- 一人暮らし世帯の家の樹木が道路を侵食し通行の妨げになっているが、所有者の同意が得られず自治会の対応も難しい。
- 耕作放棄地で虫の発生がすごい。対策を考えて欲しい。



“ぎゅっと”カーよしだについて

基本コンセプト：「だれもが気兼ねなく「おでかけ」できる町を目指して」

- 既存の路線バスだけでは対応できない町内移動の確保
- 高齢者・児童生徒等いわゆる「交通弱者」と呼ばれる人たちの移動手段の確保
- バス停から遠い地点とバス停との移動の確保
- 医療施設、商業施設等への移動手段の確保

以上のことを念頭に置き、要求に応じた乗合送迎サービス(オンデマンド型乗合タクシー)として運行(実証実験)している

料金について

- ・ 料金の設定については、既存の公共交通(バス、タクシー)との共存共栄を前提にしており、そのため、「タクシーより安価であるが不便、バスより高価であるが便利」を念頭に置き設定している
- ・ 金額については、タクシー事業者、路線バス事業者と協議したうえで、両事業者も参画する吉田町地域公共交通協議会において決定している

停留所の設置について

- ・ タクシーのように「ドア to ドア」ではなく、停留所の間隔を 100～150mの距離を空けての設置を基準としている
- ・ 停留所の設置にあたっては、設置場所関係者の承諾と警察との協議が必要となる
- ・ 停留所の追加希望があれば検討する(設置の確約は出来ない)

利用促進について

現在実施していること

- ・ 割引について(割引については町内のみ)
バス乗り継ぎ割引;バスの定期保有者→100 円割引
- ・ 回数券の販売(町内)
一般:3,000 円(300 円×11 枚)
- ・ 回数券の販売(町外)
一般:5,000 円(500 円×11 枚)
- ・ 高齢者グループへの利用体験会の開催
- ・ 町内イベントでの運行(実施:令和 6 年度実績「伝」「クラフトフェア」「吉田野営」)
- ・ 会員登録時のお試クーポン券の発行

今後実施を検討していること

- ・ 福祉割引の導入
- ・ 3歳未満無料の導入
- ・ こども回数券、福祉回数券の導入
- ・ 「ぎゅっと”カーよしだ」の説明動画の作成
- ・ 公共交通のパンフレットの作成
- ・ 塾や習い事の送迎利用の促進

福祉関係との関連

- ・ “ぎゅっと”カーよしだは、福祉車両、介護タクシーではないため、ご本人若しくは介護者等の補助により停留所への移動及び車両への乗降りができる方を利用対象としており、「ドア to ドア」でなければ移動できない方(車いすの利用者等)の移動支援は福祉施策として行っている
- ・ 高齢者への対応として、予約についてスマートフォンやPCでの予約以外に電話での予約(平日のみ)も受け付けている(スマートフォンやPCは 24 時間、電話は平日のみで 8:00~16:30)
- ・ 「“ぎゅっと”カーよしだ」を利用できる方で、障がい者手帳等をお持ちの方への割引制度の導入を検討している

周知及び PR について

- ・ 町公式ラインや町ホームページを利用しての情報発信
- ・ 町内会コミュニティ報告資料内の「“ぎゅっと”カーよしだ通信」の広報。
- ・ 小山城まつり等イベントでの PR
- ・ 吉田町社会福祉協議会と連携した「通いの場」での説明会や「大人の遠足(乗車体験)等の開催
- ・ 各町内会に出向いての出張説明会の開催(ご希望の際は企画課まで)

“ぎゅっと”カーよしだの今後について

- ・ 実証実験については、令和 7 年度までを予定している
- ・ 本格運行に移行するかどうかについては、実証運行中の実績等を参考に総合的に判断していく